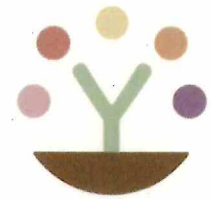


夏休みの自由研究に！

# 農業での地球温暖化抑制の取り組み

## “4パーミル・イニシアチブ”

～山梨県独自の取り組み～



YAMANASHI  
4 per 1000  
INITIATIVE

### 4パーミル・イニシアチブとは？

4パーミル・イニシアチブとは、土の中の炭素の量を毎年4パーミル(0.4%)増やすことで、空気中の温室効果ガスの一つである二酸化炭素の量の増加を防ぐ、地球温暖化対策です。

この取り組みは、フランスの提案ではじまり、いまでは700以上の国や団体が参加しています。

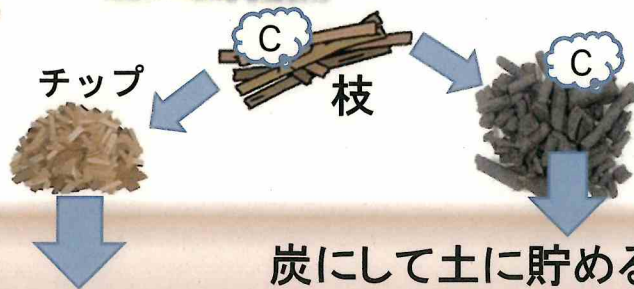
山梨県は、日本の都道府県としては初めて参加し、4パーミル・イニシアチブを全国に広め、地球温暖化を抑えるよう取り組んでいます。この取り組みは、SDGsにつながります。



※「炭素(C)」は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)に含まれる物質です。  
※「パーミル」とは、パーセント(%)の10分の1のことです。



ブドウやモモの枝を切り、その枝を炭にし、畑の中に貯めること、また、ブドウやモモの畑にのびた雑草を刈ったままにしておくこと、たい肥などの有機物を土に入れることなどにより、地球温暖化を抑えます。



果樹王国やまなし  
オリジナルの取り組みです！  
みなさんも、やまなしの  
4パーミル・イニシアチブの  
取り組みについて  
調べてみませんか？！



果樹王国やまなし  
オリジナルの取り組み

おいしい未来へやまなし  
特設ホームページ



山梨県の4パーミル・イニシアチブ  
取り組みを紹介する動画 (YouTube)



山梨県農政部  
販売・輸出支援課  
ブランド化推進担当

電話 055-223-1602

# 山梨県における4パーミル・イニシアチブの取り組み

果樹園の土壌に炭素を貯留することで二酸化炭素の濃度を低減する「<sup>フォー</sup>4パーミル・イニシアチブ」の取り組みにより、温暖化の抑制に寄与するとともに「環境に配慮した農産物」としてブランド化し付加価値を向上させることで、県内への導入を推進していく。

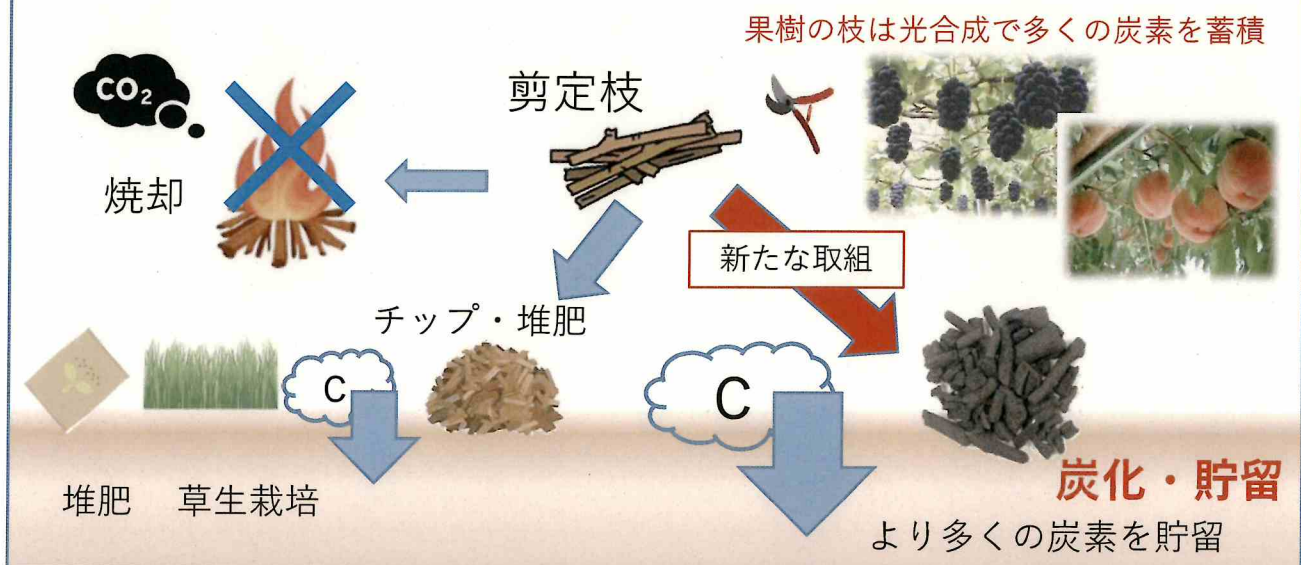
## 4パーミル・イニシアチブとは

世界の土壌（30～40cm）の炭素量を毎年0.4%（4パーミル）増やすことができれば、大気中のCO<sub>2</sub>の増加分を相殺し、温暖化を抑制できるという考え方に基づく国際的な取組

- 2015年12月のCOP21でフランス政府が提案し、2023年6月現在、日本国を含む768の国や国際機関が参画
- 山梨県は日本の都道府県ではじめて参加し、さらにこの取り組みを全国に拡大して温暖化の抑制に貢献するため、2021年2月に本県が提案して全国協議会を設立

## 果樹園と4パーミル・イニシアチブ

果樹王国である山梨県の特徴を十分に活かし、  
果樹園内で剪定枝を炭化・貯留して温暖化の抑制に寄与する



- 堆肥の施用や草生栽培によっても炭素を貯留することができる
- 炭化することで、より多くの炭素を長期間、土壌中に貯留することが可能

## 具体的な取組内容

### 試験研究

- 炭化の方法
- 煙の発生量
- 炭素の貯留量
- 土壌改良効果
- 生育への影響

### 現地実証

- 実用段階での課題把握
- 地域への普及加速化

### ブランド化

- CO<sub>2</sub>削減の評価と認証制度創設
- 新たな付加価値によるブランド化

ロゴマーク



YAMANASHI  
4 per 1000  
INITIATIVE